

鈴江言一 すずえ げんいち シナ革命研究家。明治二十七年十二月二十一自馬根
 縣生れ、昭和二十年二月十五日歿（八八四—一九五五）。筆名王子言、王樞
 之、野村進一郎。明治大學中退。大正八年渡支、北京の邦字紙「新支
 那」で時事を論じた。十五年南滿洲鐵道株式會社（滿鐵）調査機關研
 究生となる。北伐開始後は武漢へ潜入するなどの専心當り、この間中
 江丑吉の知遇を得、支那労働運動の指導者蘇兆徴、スメドレー等と知
 る。昭和十一年以降滿鐵囑託として上海で古代研究に従事、十二年對
 重慶和平工作に関はる。十九年歸國、翌年病歿。
 著書に『中國無産階級運動史』（無署名、昭和四年十一月南滿洲鐵道
 株式會社庶務部調査課「滿鐵調査資料」。改題復刊『中國解放闘争史』
 二十八年九月十五日（石崎書店）、『支那革命の階級對立』（昭和五年
 九月十五日大鳳閣）、『孫文傳』（王樞之名、昭和八年十一月）二十日
 改造社「偉人傳叢書」。復刊・二十五年七月十五日岩波書店）、『鈴
 江言一書海選』（昭和五十二年九月）（中江会縮刊）。

